

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 26 年度 第 9 回理事会議事録

日 時：平成 27 年 1 月 21 日(水) 19:00～21:30

場 所：都臨技事務所

議 長：千葉

書 記：櫻井

出席者：千葉、原田、杉岡、宮崎、中西、小山、鈴木、佐藤、工藤、三橋、松村、星野、宿谷、米山、浄土、相馬、中村、
下田、櫻井、東海林監事、立花監事 計 21 名

1. 理事行動報告

- ・12月15日(月) 学術部会 宿谷、原田、米山、相馬、星野
- ・12月25日(木) 編集委員会 宿谷、星野、相馬
- ・1月6日(火) 表彰選考委員会 宿谷、中村
- ・1月14日(水) 会計部 鈴木、工藤、浄土
- ・1月15日(木) STI委員会 三橋、浄土
- ・1月16日(金) 地域保健共催部会 多田、浄土、櫻井

2. 議事録確認

- ・平成 26 年度 第 9 回理事会議事録の確認

3. 報告事項

○各部局・委員会 報告

1) 学術部

(1) 学術部会

- ・平成 27 年度学術部各研究班の研修会開催予定を決定した。支部学術研修会は開催日程と内容が重複しない様に調整する。

(2) データ標準化・精度管理調査委員会

- ・2月26日に精度管理調査報告会を山手メディカルセンターの講堂で開催する。

(3) 編集委員会

- ・会誌「医学検査」の発行月は3, 6, 9, 12月とする。
- ・支部学術研修会用テキストは6,000部作成し、会員には個別発送とする。

(4) 生涯教育制度実行委員会

生涯教育対象行事登録者数(12月)

(No.)	(行 事 名)	(開催日)	(生涯教育点)	(登録者数)
1、	(輸血) 第8回東支部学術研修会	12月4日	20点	42名
2、	(臨床化学) 第8回南支部学術研修会	12月9日	20点	30名
3、	(微生物) 第8回西支部学術研修会	12月10日	20点	27名
4、	(一般) 第8回北支部学術研修会	12月11日	20点	29名

5、	(生理)「婦人科エコー」～基礎と知っておくべき疾患	12月11日	20点	52名
6、	(輸血)東京都輸血検査研究班 第6回研修会	12月16日	20点	45名
7、	(生理)実践!聴力検査	12月19日	20点	67名
8、	(生理)エキスパートから学ぶ 臨床検査技師のためのペースメーカー講座	12月20日	20点	42名

自己申告 会場研修

1、	第17回関東感染症懇話会	6月27日	専門-10点	1名
2、	第377回日本血液同好会	11月12日	専門-10点	16名
3、	第31回PCR感染症検査研究会	11月29日	専門-10点	1名
4、	第18回関東感染症懇話会	12月5日	専門-10点	9名
5、	微生物学英語勉強会	12月9日	基礎-10点	4名

2) 学会運営部

(1) 学会実行委員会

- ・第11回東京都医学検査学会は学会長に小山正晴理事、実行委員長原田典明理事、事務局長松村充理事とした。学会のメインテーマは「どこまで進んでいる?災害対策」とする。
- ・学会企画委員については、学会運営規定を基に学会実行委員会で選出する。

3) 支部

(1) 支部業務連絡委員会

- ・施設連絡者会議開催について
2月13日(金)東京山手メディカルセンター4階講堂で開催する。現在の申し込みは62施設である。

(2) フォーラム委員会

- ・第15回都臨技フォーラムを3月7日(土)15:00より 堀場製作所の東京オフィスで開催する。テーマは「知っておきたい!輸入感染症」である。

4) 地域保健共催部

- ・2月26日に開催する学生対象講演会の講演に関する検討事項は概ね終了した。

(1) STI予防委員会

- ・都臨技HPに掲載する原稿について
リンク方式とするため、修正して再度掲載する予定である。
- ・女性向けに配布するコンドームのパッケージを検討中である。委員や会員の意見を集約して決定する。
- ・STI予防委員会研修会については、各支部長より広報をお願いする。出来れば検査技師養成校の学生にもお願いしたい。
- ・STI予防教室の配布物については、ピペット、日臨技配布物(進路選択について、高校生向け)などを検討している。また、STI予防教室で実施するアンケートの目的を明確にして内容の変更を検討している。

5) 会計部

(1) 会費収入状況【平成 26 年 12 月 31 日現在】

	H26 年度実績	前年同月実績
入会金納入者合計数	73 名	386 名
（入会金納入者数）	（-名）	（356 名）
（減免入会金納入者数）	（0 名）	（30 名）
正会員会費納入者数	4,787 名	4,515 名
学生会員会費納入者数	122 名	286 名
賛助会員会費納入者数	79 社	75 社
未納者数	0 名	1 名

(2) おもな 11 月の事業活動収支について

◎収入

- ・第 10 回東京都医学検査学会 1,917,000 円 : 展示広告費

◎支出

- ・第 10 回東京都医学検査学会 3,948,883 円 : 委託費
- ・地域保健共催事業費 440,964 円 : 検査と健康展
- ・機関紙発行 1,172,104 円 : 会誌 11 月号作成費用

6) 庶務部

会員数【平成 26 年 12 月 26 日現在】

	H26 年	H25 年度
会員数	4778 名	4503 名
都臨技会費免除会員	46 名	
賛助会員	78 社	79 社

(1) 平成 26 年度新春のつどい・各賞受賞祝賀会について

- ・参加者数：会員 42 名、賛助会員 135 名であった。

(2) 表彰選考委員会

- ・小島三郎記念技術賞と福見秀雄賞の推薦者を選考し、~~は~~推薦書の作成を進めている。
- ・結核研究奨励賞は今回候補者なしとした。
- ・日臨技学術奨励賞「優秀論文賞」に関しては候補者を決定し日臨技へ送付した。
- ・都臨技永年会員表彰の贈呈記念品を決定し価格を検討中である。

7) 事務局

- ・平成 26 年度医療従事者ネットワーク講演会の出席者は事務局へ連絡することとする。
- ・当会への法人文書の開示に関する問い合わせについて
講師として謝金を受けている方が対象になるか調査した結果、問題はないとのこと。
- ・日臨技からの助成金については、平成 27 年度予算に組込むのであれば事前に連絡すること。
- ・都臨技に登録されているメールアドレスをリストアップする。不要と考えられるアドレスや使用していないアドレスは 3 月末日で削除するものとする。

8) 日臨技報告

- ・今年度の日臨技助成金については申請漏れがないか再度確認をすること。
- ・検体採取等に関する厚生労働省指定講習会について
第1回については参加者の意見を集約して次回に反映するように努める。第2回については、様々な不手際が生じて会員からクレームが多数寄せられた。4月以降は月2回、年10回程度を予定している。

【参加者からの意見】

- ・会場責任者は、講習会に対する情報共有が必要であり進行や実務について綿密な打合せが必要である。
- ・講演スライドの枚数が少ない。講演時間に比べ足りないのではないかとと思われる。
- ・講師からの意見として講習会の資料が不足している。また内容について偏りがあるとの意見あり。
- ・資料やスライドが不十分なので講師の力量に頼らざるを得ない状況であると思われる。

3. 審議事項

(1) 会誌の表紙色について

- ・2月語号からの表紙色について「青」を基調に文字色を「赤」とし、表紙写真は各号変更することで承認された。

(2) 賛助会員入会申し込みについて

- ・㈱日本廣業者より賛助会員として新入会の申込みがあり、会社概要や申請書の確認を行い承認された。

(3) 新入会会員について

- ・20名の新入会の申請があり、会員歴、所属等の確認を行い承認された。
(都臨技のみ入会者に所属施設の記載漏れが多いので入会時に注意喚起する)

(4) 第11回東京都医学検査学会について

- ・学会運営部より学会長小山正晴理事、実行委員長原田典明理事、事務局長松村充理事が選出され承認された。

(5) 共催許可願い書について

- ・共催研修会を行う際に提出する「共催依頼申請書」、「共催許可願い書」が庶務部より提案され、承認された。

(6) 市ヶ谷法曹ビルの鍵委託と警備体制について

- ・法曹ビルの管理体制について夜間の管理体制を変更することについてアンケート調査が行われた。
専有部分の鍵について、事務局としては「全戸一括預かり」と「無人警備」を提案するが、費用面で変更があるか調べる必要があるので継続審議としたい。

(7) 幹事変更について（一般検査研究班）

- ・一般検査研究班から、幹事交代の提案がなされたが新幹事の業績が未提出のため継続審議となった。

4. その他

(1) 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会について

- ・次年度も都内で年10回程度開催を予定しているため、都臨技として実務に関して協力体制をとる。
- ・実施された講習会の中で様々な問題が生じているが、意見等を集約、反映して随時修正を行う予定である。

(2) 検体採取技術教本作成について


- ・千葉会長が編集担当となり、ガイドブックの作成を進めている。今後は執筆者を検討するので協力をお願いする。


(3) 東京都診療放射線技師会より学術大会シンポジスト派遣依頼があり、当会より講師を派遣することとした。

(4) 都臨技会館取得検討委員会を立ち上げて、取得に向けた企画・詳細検討を進める。

平成 27 年 1 月 21 日 (水)

公益社団法人東京都臨床検査技師会

議長 千葉正志  印
(千葉)

監事 東海林治三郎  印
(東海林)

監事 立花勇一  印
(立花)